

# Challenge !

## 業務改善

第21号(令和2年3月31日)  
業務改善プロジェクト・チーム  
(学校経営支援課)  
電話:082(513)4972

学校における働き方改革  
取組方針(抜粋)

VI 1 フォローアップ  
取組の着実な実行を図るため、  
勤務実態の調査や毎年度の取組  
の検証を行う

### 県立学校の働き方改革に係るフォローアップ調査を実施しました①

県立学校全校を対象に実施した「学校における働き方改革取組方針」に係るフォローアップ調査の結果の一部を御紹介します。調査時期:令和元年9月25日～10月18日 回答校数:121(分校2,分級1を含み,全定併置校は,課程別にカウント)

#### 留守番電話の活用

県立学校では、ほとんどの学校で留守番電話を活用しています！

- 9割以上の学校で、留守番電話を活用
- 活用している学校のうち、設定の解除を勤務開始時刻としているのは48.7%、設定を勤務終了時刻としているのは76.1%

#### 設定解除の タイミング

勤務開始時刻	特定の時刻(勤務開始時刻からの時間)		最初の入校者等 が解除	その他
	1～30分前	31分以上前		
55 (48.7%)	20 (17.7%)	11 (9.7%)	16 (14.2%)	11 (9.7%)

#### 設定の タイミング

勤務終了時刻	特定の時刻(勤務開始時刻からの時間)		最終退校者が 設定	その他
	1～30分後	31分以上後		
86 (76.1%)	9 (8.0%)	8 (7.1%)	5 (4.4%)	5 (4.4%)

第20号(平成30年11月5日)で  
安芸高田市の留守番電話  
導入事例を紹介しています  
ので、参考にしてください。

勤務時間外の電話対応の  
負担が軽減

#### 働き方改革等に係る取組の提案方法

ボトムアップや対話を意識した取組を行うことも大切です！

- 取組の提案方法について、管理職の提案のみ(それ以外の手法を選択していない)としている学校が、1割程度あった。

管理職が提案	うち「管理職が 提案のみ」を選択	主任等が学年や 各部の提案を取り まとめて提案	検討するための チーム(委員会)が 提案	管理職と教職員の 面談時に確認	校内アンケート を実施	業務改善提案を 書き込めるボード 等を設置	その他
99 (81.8%)	11 (9.1%)	54 (44.6%)	19 (15.7%)	66 (54.5%)	32 (26.4%)	4 (3.3%)	4 (3.3%)

※複数回答可

日常業務や職場環境の様  
々な気付き・改善について  
教職員間で話し合う「かえる  
かいき」を定期的に開催し  
ている学校もあります。

教職員の当事者意識や参画度が高いことが、取組実施に対する教職員の  
納得感や継続的な取組につながります！

業務改善 小さな気づきで一步ずつ(事例集P6より)

# 県立学校の働き方改革に係るフォローアップ調査を実施しました②

県立学校各校では、様々な取組を進めています！ 取組事例の一部を御紹介します。

## 業務の分担・校務分掌等の組織体制の見直し

- 分掌内の業務分担** クラスにおける提出物等の事務処理を副担任が行うよう、実施要項に明記し、副担任に遠慮し頼みにくい状況を改善
- 校務分掌の見直し** 分掌間の業務分担を見直し、学校通信を作成する分掌を変更の上、学校通信の発行回数を月1回から2か月に1回とした

## 会議・職員朝会等の見直し

- 会議の効率化** 会議の代わりに校内掲示板やメールを活用  
会議時間や議題ごとの時間配分をあらかじめ設定、周知
- 職朝の短縮** 職員朝礼連絡用紙に記載した内容については説明をしないよう徹底

## 業務処理の効率化・マニュアルの整備

- 業務の進行管理の徹底** 各分掌、学年会、学科ごとに「進行管理スケジュール」を作成し、業務内容や進捗状況を確認できるようにした
- マニュアルの整備** 業務が終わるたびに「業務引継書」を作成し、次年度へのマニュアルとしている  
「必携」を作成し、マニュアルやデータを1つにまとめることで、時間的なロスを改善

## ICT・校内LAN等を活用した取組

- グループウェア等の機能活用** 行事等の振り返り（アンケート）をアンケート集計システムで実施し、集計作業を効率化  
会議案内や急ぎの連絡などにメッセージ機能を活用し、連絡等を効率化
- 一斉メール送信活用** 一斉メール送信システムを導入し、警報に伴う休校等の連絡、その他保護者への連絡等で活用  
結果、事務室や担任への問い合わせ件数が減少

## 起案・決裁・文書收受等の取組

- 起案処理の見直し** 調査書や推薦状の起案の流れを見直し、主任のチェックポイントを明確化

## 行事等の精選・見直し

- 行事の廃止・開催回数見直し** オープンスクール2日開催を1日に短縮  
年間の行事の状況等を踏まえ、合唱祭を廃止  
2学年の学習合宿を校内での学習会に変更
- 行事運営上の見直し** 文化祭・運動会を生徒主体の取組とし、教員はサポートに徹したことで、業務負担を軽減
- 日課の見直し・作業時間確保** 個別指導等の充実のため、7時限目廃止検討  
定期考査最終日の授業をカットして、採点時間を確保

## 整理・整頓、執務環境の改善

- 執務環境改善** 職員室の棚の整理等を行い、共有スペースを確保し、ミーティング等で活用

分類別の取組事例について、HPで公開しています。また、平成30年度に実施した教員勤務実態調査の結果において、教頭や若年層の教員の勤務時間が特に長いという傾向が見られたことから、これらを対象とした各校の取組事例についても、併せて掲載しています。

【掲載場所】 ホットライン教育ひろしま>広島県教育委員会へようこそ>人材育成・能力開発>学校の業務改善、働き方改革に向けて